

文部科学大臣認定

# 実務施工体験研修 平成30年度 開催報告



鉄筋圧接



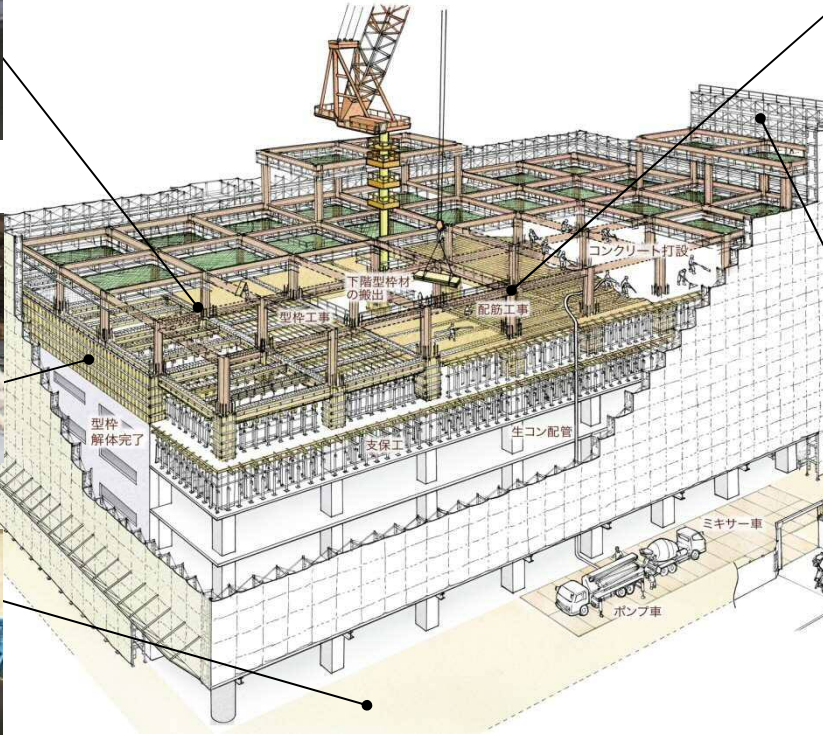
鉄筋組立



型枠組立



フォークリフト操縦



枠組足場組立



グループ討議

一般財団法人 建設業振興基金

## 建設業体験 + 免許状更新

- ✓ 屋根付きの施設で建設業の体験ができる！
- ✓ 全教諭が対象！
- ✓ 教育現場におけるキャリア教育に活かせる！
- ✓ 教員免許更新制における免許状更新講習（選択領域講習）に対応！
- ✓ 免許状更新が無くても参加可能！
- ✓ 連続3日間で選択領域講習18時間をカバー！

（建設業を体験できる講習）

本財団が3会場で実施する講習のみ

1

8,923

（2018年10月現在の免許状更新講習数）

受講者に聞きました！

### この研修を選んだ理由は何ですか？

- ・ 建設現場での実務を経験したいと思ったため（工業高校教諭）。
- ・ 教員になって15年経つので、再確認のため（工業高校教諭）。
- ・ 生徒の進路指導に活かせる体験であると感じたため（中学校教諭）。
- ・ 今後の教育指導（キャリア教育）に活かせると感じたため（小学校教諭）。
- ・ 今までとは違う体験をしたいと思ったため（普通高校）。
- ・ 夏休み中の開催で、料金も手頃であったため（工業高校教諭）。

# はじめに

建設産業は、人々の日常の衣食住を支える「まちづくり」や「社会基盤整備」などを通じ、国民生活の安全・安心を守るわが国の基幹産業です。その投資額は約56兆円と国内総生産の約1割を占め、就業者数も498万人と就労人口の7.6%を占めています。

(一財)建設業振興基金は、わが国建設産業の振興のために昭和50年に設立された団体です。特に中小規模の企業体が多い建設業界において、金融の円滑化、施工技術の向上、人材の確保・育成などの諸課題に対処すべく、国や関係機関とともに種々の取組を進めております。

さて、学校の先生方が日頃の教育活動を推進するに当たっては、受け持つ児童や生徒が将来、社会的・職業的に自立し、自らの役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するためのキャリア教育の観点が必要となっております。

私どもが実施する「実務施工体験研修」は、建設産業における施工の実務を体験する内容となっておりますが、免許状更新の有無にかかわらず、受講いただくことが可能です。以下、本年度の実施概要を報告いたしますので、ご確認くださいませようよろしくお願いいたします。

平成30年10月  
一般財団法人 建設業振興基金

## 総括責任者からのご挨拶

現在、わが国建設産業の就労人口はその約3割が55歳以上であり、一方の29歳以下は約1割にとどまっていることから、将来を担う人材の確保・育成が急務の課題となっております。

このような中、私どもが主催する免許状更新講習「実務施工体験研修」は、国民生活の基盤となる社会インフラを「つくり」、「なおし」、「まもる」仕事の担い手対策に産業全体を挙げて取り組む「建設産業担い手確保・育成コンソーシアム」事業の一環として実施しております。

具体的な内容は次ページ以降をご覧くださいと存じますが、先生方には研修の受講を通じ、建設産業の良いところ、悪いところも含め、実際の姿を目にさせていただきたいと考えております。

私どもといたしましては、次年度においても、より充実した内容で先生方をお迎えする所存ですので、何卒お引き立てを賜りますようよろしくお願いいたします。



一般財団法人 建設業振興基金  
理事 奥地 正敏

## 目次

- ・近畿（兵庫）会場実施報告（三田建設技能研修センター）・・・・・・・・・・・・・2
- ・中部（静岡）会場実施報告（富士教育訓練センター）・・・・・・・・・・・・・3
- ・九州（福岡）会場実施報告（福岡県建設専門工事業団体連合会）・・・・・・・・・・・・・4
- ・グループ討議におけるテーマと意見・・・・・・・・・・・・・5
- ・受講者の感想・・・・・・・・・・・・・6
- ・来年度の開催案内など・・・・・・・・・・・・・7



近畿

講習日数  
3日

講習時間  
18時間

通学  
・  
宿泊

# 近畿地方初開催！

¥24,000円  
(宿泊費含む)

「三田建設技能研修センター」で学ぶ建設躯体系3職種（鉄筋、型枠、足場）！！

開催期間 8月6(月)～8(水)  
 場所 職業訓練法人 近畿建設技能研修協会 三田建設技能研修センター  
 (〒669-1544 兵庫県三田市武庫が丘 6-1 / フラワータウン駅 徒歩 13分)  
 主催 職業訓練法人 近畿建設技能研修協会 三田建設技能研修センター  
 一般財団法人 建設業振興基金  
 講師 古阪 秀三 氏 (立命館大学 客員教授 工学博士)  
 高城 辰哉 氏  
 (国土交通省 近畿地方整備局 建政部建設産業第一課長)  
 北浦 年一 氏 (一般社団法人 大阪府建団連 会長) ほか10名  
 参加人数 6名(男性5名、女性1名)  
 建設系学科高校教員4名、普通科高校教員1名、普通科高校養護教員1名



鉄筋・型枠 組立完了



訓練センター講義棟

【研修内容】入校式・ガイダンス、講義「建設業界の現状と課題」(古阪講師、高城講師、北浦講師、他)、講義「実技の事前学習」、意見交換会、壁・柱配筋、型枠組立、足場組立・解体、番線の結び方の確認、筆記試験、修了式

	朝礼	1時限	2時限	3時限	4時限	昼食	5時限	6時限	7時限	8時限	9時限	10時限			
	7:45	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	18:00	19:00
1日目 8月6日 (月)				入校式 ガイダンス	休憩 (昼食)		講義 建設業界の現状と課題 (講師:古阪秀三、北浦年一、高城辰哉、大湾朝康)			躯体実習の解説 実習の事前学習 (講師:内田昇)		休憩	意見交換会		
2日目 8月7日 (火)	ミー ティ ング	躯体実習 鉄筋組立・型枠組立			休憩 (昼食)	躯体実習 鉄筋組立・型枠組立		躯体実習 足場組立		建築学概論 映像視聴		夕食 入浴 休憩			
3日目 8月8日 (水)		躯体実習 足場組立 解体・片付け			休憩 (昼食) シャワー	筆記試験 小論文形式		修了式							



### 受講者の感想

現場経験のない私にとっては、これまで机上での理解が中心であり、実際の細やかな留意点や前後の効率などを予測した作業や段取りなど、すべてが初めての体験ばかりで、これまでの思い込みや間違った理解や解釈が一新されました。  
 (工業高校教諭) →詳しくは6ページに記載

### 訓練責任者のコメント

三田建設技能研修センター  
所長 依藤 庸正



担い手の確保・育成のためには、建設産業界と教育関係者との緊密な連携体制を構築することが求められます。両者がタッグを組み、建設業界の良いところも悪いところもご理解いただいたうえで送り出させていただくことにより、入職後のミスマッチ防止に繋がるものと考えています。 2



中部

講習日数  
3日

講習時間  
18時間

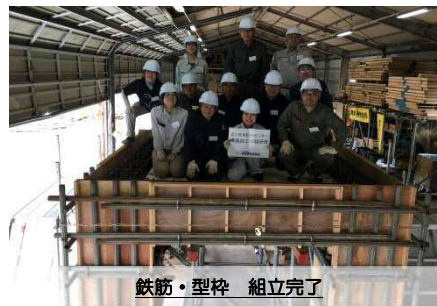
宿泊

# 祝講義棟竣工！

¥19,280円  
(食費・宿泊費含む)

竣工を迎えた建設職業訓練校の中央拠点「富士教育訓練センター」で過ごす3日間

開催期間 8月8(水)～10(金)  
 場所 職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会 富士教育訓練センター  
 (〒418-0101 静岡県富士宮市根原 492-8 / 新富士駅から無料送迎バス)  
 主催 職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会 富士教育訓練センター  
 一般財団法人 建設業振興基金  
 講師 浦江 真人 氏 (東洋大学理工学部建築学科 教授)  
 黒田 良一 氏  
 (国土交通省 中部地方整備局 建設産業調整官) ほか7名  
 参加人数 11名(男性7名、女性4名)  
 建設系学科高校教員9名、小学校教員2名



【研修内容】入校式・ガイダンス、講義「建設業界の現状と課題」(浦江講師、黒田講師、他)、グループ討議「これからの教育のあり方と建設業界への就職について」、墨出し、鉄筋加工、柱・梁配筋、柱・梁型枠組立、監理技術者講習映像「施工現場技術リポート」視聴、柱・梁 型枠・鉄筋解体、番線の結び方の確認、筆記試験、修了式

	1時限		2時限		3時限		4時限		昼食		5時限		6時限		7時限		8時限		9時限		10時限	
	8:00	8:30	9:00	10:00	10:00	11:00	11:00	12:00	12:00	13:00	14:00	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	18:00	19:00				
1日目 8月8日 (水)					入校式		休憩 (昼食)				建築学総論 建設業界の現状と課題 (講師: 浦江真人、多田智和、大冨朝康、小松原学、黒田良一)						グループ討議		休憩		意見交換会	
2日目 8月9日 (木)	起床・朝食 ミーティング 全体朝礼	躯体実習 墨出し・柱配筋				休憩 (昼食)		躯体実習 梁配筋 柱・梁型枠 組立						夕食 入浴 休憩		建築学総論 監理技術者講習 映像視聴						
3日目 8月10日 (金)		躯体実習 柱・梁型枠 解体・片付け				休憩 (昼食)		筆記試験 小論文形式		修了式												



### 受講者の感想

「安全第一」が絵に描いた餅ではなく、何より大切に作業していることを実感させられました。何を一番にすべきか明確でした。「ご安全に」は心に訴えかける言葉でした。  
 (工業高校教諭)

3 →詳しくは6ページに記載

### 訓練責任者のコメント

富士教育訓練センター  
校長 小松原 学



当センターでは2回目となる本年は、教育現場における実務面の補完及び建設産業の戦略的な広報の2つの観点からカリキュラムの設定を行いました。従来の実績を生かした実務型体験実習と、建設業界関係者とのディスカッションを通して今後の教育活動に活かしていただければと思います。



九州

講習日数  
3日

講習時間  
18時間

通学

研修内容充実!

¥15,000円

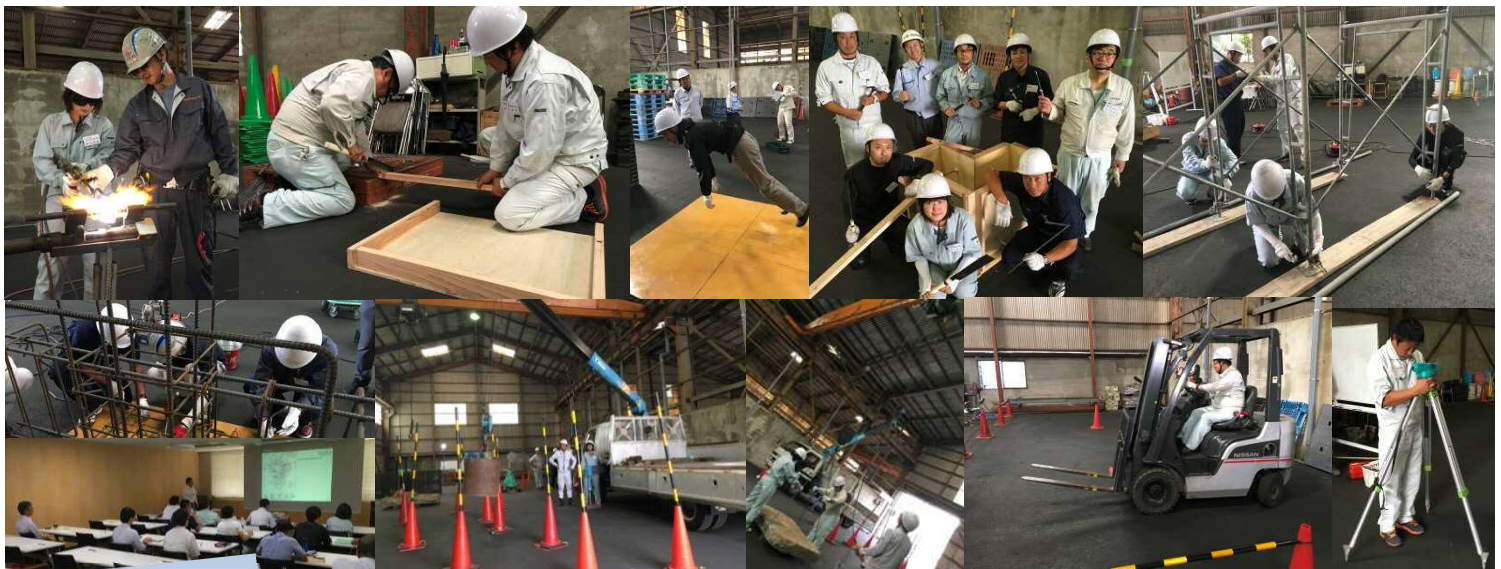
鉄筋圧接・フォークリフト操縦・小型クレーン操作など、他では味わえない建設業体験!

開催期間 8月20(月)~22(水)  
 場所 福岡県中小企業振興センター 他  
 (〒812-0046 福岡県福岡市博多区吉塚本町9-15 / 吉塚駅 徒歩1分)  
 主催 一般社団法人 福岡県建設専門工事業団体連合会  
 一般財団法人 建設業振興基金  
 講師 塚原 健一 氏 (九州大学 教授)  
 天方 正彦 氏  
 (国土交通省 九州地方整備局 建政部建設産業調整官) ほか10名  
 参加人数 7名(男性5名、女性2名)  
 建設系学科高校教員5名、普通科高校教員1名、中学校教員1名



【研修内容】入講式・ガイダンス、講義「建設業界の現状と課題」(塚原講師、天方講師、他)、講義「建設現場の安全管理」、鉄筋組立、ガス圧接、測量機器の使用、枠組み足場組立、番線の結び方確認、施工位置測量、墨出し、型枠製作・組立、フォークリフト操縦、ユニック車操作、天井クレーン操作、玉掛け体験、グループ討議「これからの教育のあり方と建設業界への就職について」、筆記試験、修了式

	1時限	2時限	3時限	昼食	4時限	5時限	6時限	7時限			
	9:00	10:00	10:30	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	15:30	16:00	16:30
1日目 8月20日 (月)		入校式	学科・講習 建設業界の現状と課題 (講師: 天方正彦、小嶋隆昭)	休憩(昼食)	学科・講習 建設現場の安全管理 (講師: 後藤隆之)	実技・実習 鉄筋組立、鉄筋圧接					意見交流会
2日目 8月21日 (火)		躯体実習 足場組立		休憩(昼食)	躯体実習 型枠 製作・組立・解体						
3日目 8月22日 (水)		躯体実習 フォークリフト操縦、小型クレーン操作、 玉掛け、ユニック車操作		休憩(昼食)	学科・講習 建設業の 現状と課題 (講師: 塚原健一)	グループ討議 キャリア教育の手法 講師: 柳田開、杉山秀彦 天方正彦、川浪信吾	筆記試験 小論文 形式	修了式			



受講者の感想

足場の設置にはミリ単位の細かさ、釘を打ち込むときには3発で仕留める大胆さ、相反する二つの動作であっても、そこには高い精度へのこだわりを感じました。大胆かつ繊細に、を象徴する作業を体験できたのは、非常に貴重でした。  
 (中学校教諭) →詳しくは6ページに記載

訓練責任者のコメント

福岡県建設専門工事業団体連合会  
 会長 杉山 秀彦



教員免許の更新は10年に1回です。その貴重な機会を建設実務の体験に充ていただき感謝申し上げます。幅広い建設の世界を知っていただく良い機会なので、3日間楽しく学んでいただき、建設産業で働く楽しみとやりがいを存分に味わっていただきたいと思ひます。



# グループ討議におけるテーマと意見

参加者全員で行った意見交換会より、内容の一部を紹介します。

## 現在の取り組みで課題になっている事は何ですか？

- ・**建設系の学科の魅力**を、小中学生・保護者などへ幅広く **PR** したいが、その機会に乏しい（工業高校教諭）。
- ・入学した1年生に対し、高校で学ぶ前の**復習**が必要となることが多いため、結果として授業時間が足りなくなってしまう（工業高校教諭）。
- ・**キャリア教育**の観点からさまざまな職業体験をさせたいが、相談窓口がどこかわからない（小学校教諭）。
- ・**高校卒業後**、大学進学以外の選択肢を情報として与える機会に乏しい（高等学校普通科教諭）。



## 児童・生徒に対し、どのような方法で将来やりたいことを考えさせていますか？

- ・インターンシップ、現場見学など、**体験的な内容**や、**卒業生**による講義、講演等の実施（工業高校教諭）。
- ・土木の魅力や役割、さまざまな現場があることなどを**自らの経験を基に**伝えている（工業高校教諭）。
- ・**資格取得に向けた講習**等の際、これが将来何に役立つのかをしっかりと説明している（工業高校教諭）。
- ・**夢ノート**を活用するなど、将来の自立と自律を促すための具体的なビジョンを書かせている（中学校教諭）。
- ・将来を思い描き、目標を立て、その**目標に向け努力**することの重要性を伝えている（小学校教諭）。
- ・**「何歳になっても学ぶ姿勢を忘れない」**ことを自分の経験を踏まえて話す（工業高校教諭）。
- ・色々な職業の方の話や、職業体験などを通して、**人生設計や夢**を持たせ、実現のための目標を考えさせていく。特に3年生では、進学する学校選択のみでなく、**生き方の指導**を心がける（工業高校教諭）。



## 児童・生徒の個性・興味を踏まえ、どのようにコミュニケーションをとっていますか？

- ・**建設業に興味無く入学した生徒**には、**その魅力**について**実体験を踏まえた紹介**をすることで、3年間の目標を見つけさせる（工業高校教諭）。
- ・様々な体験行事・学習での感想や進路希望調査、毎日担任とやりとりするノート、面談、普段の会話などから本人の興味関心や適性、学力などを学年職員で情報を共有し、**多面的な生徒理解**に努める。生徒には興味のある高校にはできるだけ多く**オープンスクールに参加して体験**させ、**高校の先生や生徒に直接聞いてくる**ように勧める。**家庭で進路についてじっくり話す機会を持つ**ように保護者にも協力してもらおう。生徒の主体的な選択・決定を支援するため、**学年職員や保護者との連携**を深める。（中学校教諭）



## 生徒や保護者は、建設業をどう見えていますか？

- ・**つくることの素晴らしさ、やりがい**、を感じることができる一方で、依然として3Kのイメージが先行しており、これが払拭されていないように感じる（工業高校教諭）
- ・保護者としては、屋外作業で常に風雨にさらされ、寒暖の差も激しい建設現場の**厳しい環境**に就かせることに**抵抗がある**ようである（工業高校教諭）。



# 受講後の感想

終了後に行ったアンケートより、回答の一部を紹介します。

- ・担当講師の方の研究や調査などを中心に業界の抱える問題・課題を取り上げながらの内容は、学生をこの業界に生徒を教え導く立場としては参考になる講義でした。
- ・建設業界へ送り出す側として、生徒へ伝えることができる材料となった。



## 講義「建設業界の現状と課題」 はいかがでしたか？



- ・スカイツリーや姫路城等よく知っている建造物の施工について興味を持って見ることができた。
- ・建設業への夢を感じさせる映像だったと思います。
- ・とても興味深く鑑賞できた。一般的な映像教材は沢山盛り込まれていて話が飛んだりするので、施工技術を重点的に説明されていたので分かりやすかった。

- ・高校生が建設系の就職先を希望するような手立てを教員側も考えて行く必要があることに気付いた。
- ・企業が求める人材像や工業高校への期待、建設業界担い手不足への対応について詳しく知ることができたので、本校建築科の進路指導に活用したいと思う。



## 監理技術者講習映像 「施工現場技術レポート」 はいかがでしたか？

- ・他校の取組や小中学校の先生方から意見を聞いたことは有意義であった。
- ・県外や異校種のお話を聞く機会は少ないので、大変貴重な意見を聞いた。また、住まう空間を学習する「住育」の必要性を感じた。



- ・鉄筋組立作業の部分的な作業は経験があったが、柱1本を組み立てたのは初めてだった。壁鉄筋との取合いも良く理解できた。
- ・図面や机上では確認できないものを作業体験で学ばせてもらった。



## グループ討議 「これからの教育のあり方と 建設業界への就職について」 はいかがでしたか？

## 施工体験はいかがでしたか？



- ・30年ぶりに測量機器を扱い、その仕組みに改めて感動した。足場がどのように固定されているかがわかり、近所の建設現場を注意深く見るようになった。

- ・学校キャラバン(建設業の出前授業)を小中学校、普通高校でも実施していると聞き、機会があれば本校でも実施していただきたいと思った。
- ・建設業界ガイドブック(生徒に配布し、授業で使いたい)
- ・今回の研修の内容について、今後の生徒への指導に活かして行きたいと思う。

## 今回の研修で、今後、生徒への指導に活かせると感じた資料・体験はありましたか？

このたびは「実務施工体験研修」にご参加いただき、誠にありがとうございました。頂戴したご意見をもとに、研修内容のさらなる改善に努めて参ります！

((一財)建設業振興基金 担当者より)



# 来年度の開催案内など

「実務施工体験研修」について、詳しく紹介しています。

## 平成 29 年度 第 1 回 実務施工体験研修 報告書



「平成 29 年度 第 1 回 実務施工体験研修」の報告書は、WEB サイト「建設現場へGO！」より閲覧・ダウンロード可能です。ぜひご覧ください。

実務施工体験研修

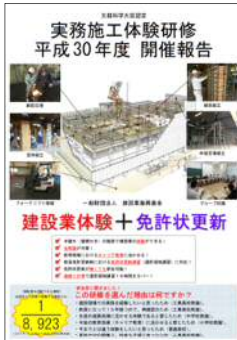


建設現場へGO!

— 見る、知る、働く、建設産業のJobポータル —

<http://genba-go.jp/>

## 平成 30 年度 実務施工体験研修 報告書



「平成 30 年度 実務施工体験研修」の報告書は、WEB サイト「建設現場へGO！」より閲覧・ダウンロード可能です。ぜひご覧ください。

実務施工体験研修



建設現場へGO!

— 見る、知る、働く、建設産業のJobポータル —

<http://genba-go.jp/>

## 「建設業しんこう」に掲載



私どもの機関誌「建設業しんこう」に掲載した情報を閲覧できる WEB サイトです。

「実務施工体験研修」については、FOCUS(フォーカス)のコーナーで取り上げています。

メールアドレスを登録すると、毎号発行後に最新情報をお知らせいたします。ぜひご利用ください。

メールマガジン配信希望はこちらから→

<https://www.shinko-web.jp/>



来年度の開催

## 平成 31 年度 実務施工体験研修について

以下は、本研修に係る次年度の開催計画となります。

文部科学省のホームページより講習検索を行う際の参考としていただきたく、よろしくお願いたします。

- ・領域 選択領域講習
- ・開設者名 一般財団法人 建設業振興基金
- ・講習名 実務施工体験研修
- ・時間数 18 時間
- ・講習開催地 調整中(全国 3 箇所程度)
- ・講習の期間 調整中(3 日間)

WEB サイト「建設現場へGO！」では、開催決定次第、講習の詳細や参加申込開始時期を公表します。ぜひ“更新情報メール通知”サービスをご利用下さい。

### 建設現場へGO!

— 見る、知る、働く、建設産業のJobポータル —

<http://genba-go.jp/>

担い手確保・育成に関する様々な情報・動画・コンテンツを公開しています。

平成 29 年度にリニューアルし、スマートフォンでの閲覧にも対応しています!



メールアドレスと所属先を登録するだけでOK!

【事務局】 一般財団法人建設業振興基金 経営基盤整備支援センター 人材育成支援課  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-2-12 虎ノ門4丁目MTビル2号館6階  
TEL: 03(5473)4572 FAX: 03(5473)4594 MAIL: [jinzai@kensetsu-kikin.or.jp](mailto:jinzai@kensetsu-kikin.or.jp)